

因幡街道 宿場町の栄華が残る平福を歩く**◆実施期日：令和8年12月5日(土) 雨天決行(現地集合)****◆集 合：道の駅 ひらふく 12時45分(出発：13時)**

*当選者には集合場所の地図を送付致します。集合場所近くに無料の広い駐車場あります。

列車利用の場合は智頭急行線 平福駅から徒歩5分。

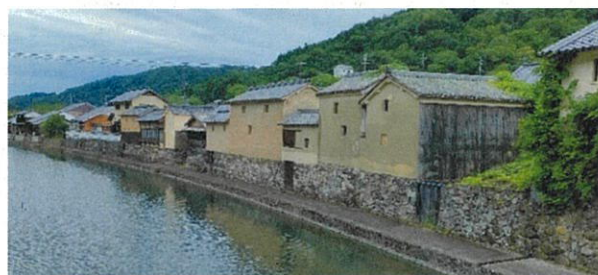
解散予定 15時半頃(武蔵初決闘の場)

◆主な訪問先(ガイドの案内解説付き)

・展望台から平福の街並みと利神^{りかんじょう}城跡を眺める

利神城は慶長5年(1600)池田輝政の甥・池田出羽守由

之が23500石で領主となり5年の歳月をかけて広大な城郭を造営し山麓には城主屋敷、武家屋敷を配置しました。さらに街道沿いに町人地(現：平福宿場町)を設けるなど、城下町の建設にも尽力しました。3層の楼閣は、あたかも雲を衝くが如き威容から「雲突城(くもつきじょう)」と呼ばれましたが、一国一城令により廃城となりました。

**・因幡街道と川端風景**

平福は因幡街道有数の宿場町として発展しました。南北1.2kmの区域に300戸余りの家の約8割に屋号が付く商人の町となりました。旧街道沿いにある連子窓と千本格子の持つ古い家並みや、佐用川沿いの石垣上の土蔵群が、往時の面影を今に伝えています。見学予定の瓜生原家は代々「吹屋」という屋号で鋳物業を営んでいました。

・宮本武蔵初決闘の場

慶長元年(1596)武蔵13歳のとき、新当流有馬喜兵衛の「何人なりとも望みしだいに手合わせいたすべし、われこそ日下無双兵法者なり」という高札を見て初めて決闘に挑み、一刀のもと倒したとされています。

**◆参加費：100円(保険代等)**

参加費は当日現地にて徴収します。おつりのないようお願いします。

◆参加申込受付期間：11月1日(日)～11月15日(日)

申込は歴史博物館ホームページからのWeb申込または往復はがきでお願いします。

往復はがきでは①もおし名(必ず記載願います)②住所③名前④年齢⑤携帯電話番号(当日連絡のつく携帯電話番号)⑥会員番号を記入ください。(一人一枚のはがきで応募願います。)

申込先：〒670-0012 姫路市本町68番地

兵庫県立歴史博物館 事業企画課 友の会事務局 TEL:079-288-9011

◆募集定員：25名(会員限定、定員超えの場合は抽選)

・キャンセルは早めに連絡下さいますようお願い致します。

・荒天等により中止の場合もあります。